

「茅ヶ崎市実施計画 2025」策定にあたってのコロナ禍の影響の整理（案）

コロナ禍による変化と課題

○新興感染症への対応

- ・国の専門家会議から「新しい生活様式」が提言され、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いが感染防止の3つの基本として示され、国民に相当程度定着。
- ・茅ヶ崎市は、国県の方針等を踏まえ、ウイルスの特性や感染動向に応じて、人員・予算を投じて臨機応変に対応。
- ・各種給付金の給付やワクチン接種証明の発行などで手続きに時間を要したことから、利用者誰もが利用しやすい行政手続きのデジタル化の必要性が高まる。
- ・今回のコロナ禍の対応を教訓に、新興感染症に対する危機管理体制がどうあるべきか検討が必要。

○東京都特別区部からの転出先として茅ヶ崎が選ばれる傾向

- ・日本人について1996年以来25年ぶりに東京都特別区部が転出超過となり、その転出先はコロナ禍前に比べ茅ヶ崎をはじめとする湘南地域が上位。
- ・特に子育て世代層の転入の割合が高い傾向に。
- ・この社会潮流を追い風に、世代間バランスがとれたまちの実現に向け、子育て世代の転入を促進することが必要。

○テレワークやサテライトオフィスなどの働き方の多様化

- ・ソーシャルディスタンスを確保する観点からテレワークによる在宅勤務やサテライトオフィスの新設による分散勤務が浸透。
- ・市内にもサテライトオフィスやコワーキングスペースを新設する動きが現れる。
- ・また、押印の廃止など非対面・非接触型の手続きの構築に向けてデジタル化の必要性が顕在化。
- ・この社会潮流の変化を踏まえ、東京までほどよい距離にあることを生かし、茅ヶ崎における柔軟な働き方を形成・促進し、まちの魅力にしていけることが必要。

○人の交流の抑制

- ・感染を抑制する観点から、多くの社会活動や地域経済活動が急ブレーキ。
- ・地域活動や市民活動は、人が集まって行われる行事等の開催に制約。
- ・地域経済も緊急事態宣言下における営業自粛や感染防止対策に対応。
- ・地域活動や市民活動は、まちに必要な不可欠なものであり、一度立ち止まった結果を踏まえて、人のつながりや交流など絆の再構築を促進していくことが必要。
- ・地域経済についても、まちの原動力となるものであり、飲食店をはじめとするコロナ禍で影響を受けた業種の再興を促進していくことが必要。

○孤独・孤立の深刻化

- ・コロナ禍前から家族や地域など人の関わり合いの希薄化により孤独・孤立を感じる状況は進行。
- ・コロナ禍によって、感染防止のため対面での対応が抑制され、困りごとを抱えている方の交流や見守り、相談などきめ細やかな対応が困難になる。
- ・子育て世帯、高齢者、障がい者などで困りごとを抱えている方の状況を把握し、孤独化・孤立化しない体制を整備していくことが必要。

コロナ禍の課題を踏まえ総合計画の将来の都市像の実現に向けた政策目標のポイント

コロナ禍の課題を踏まえると、総合計画に掲げる将来の都市像「笑顔と活力にあふれ みんなで未来を創るまち茅ヶ崎」の実現がますます重要

政策目標1 子どもが希望を持って健やかに成長し、次代を担うひとが育つまち

子育て世帯の転入世帯が増加している社会情勢の追い風を生かし、子育て環境や学校環境を整え、定住につなげる。一方で、困りごとを抱える子育て世帯（保護者・子ども）にきめ細やかに対応していく。

政策目標2 地域が活力にあふれ、交流とにぎわいのあるまち

地域経済の再興に向けて、影響の大きさや業態の変化を見極め、適切な支援につなげていくとともに、職住近接等の新たな働き方の実現を推進していく。

政策目標3 共に見守り支え合い、誰もが健康に暮らすまち

これまで築き上げてきた市民の健康づくりを着実に進めるとともに、高齢者や障がい者などで困りごとを抱える方にきめ細やかに対応していく。

政策目標4 誰もがいつでも学べ、生きがいを持って自分らしく暮らすまち

市民活動が停滞したことを踏まえ、社会教育や文化スポーツ活動の再興を目指す。また、多様性ある人々の交流を取り戻し誰一人取り残されない社会づくりを目指す。

政策目標5 豊かな自然と共存し、心地よい生活環境のあるまち

住み続けたいと感じてもらうためにも、身近な生活インフラ等の整備・維持管理を適切に行う。また、将来に向けては、環境負荷が少ない持続可能な社会を実現するための対策を講じる。

政策目標6 安全で安心して暮らせる、強くしなやかなまち

新興感染症に対する危機管理体制を構築する。また、激甚化する自然災害に対応するため、人の絆が礎となる地域の安全安心の確保に向けた取り組みを推進していく。

政策目標7 利便性が高く、魅力的な都市空間が整うまち

新たな転入を促進するために茅ヶ崎の魅力が引き出された機能的な都市空間の形成に向けて、都市づくりの課題に対応していく。

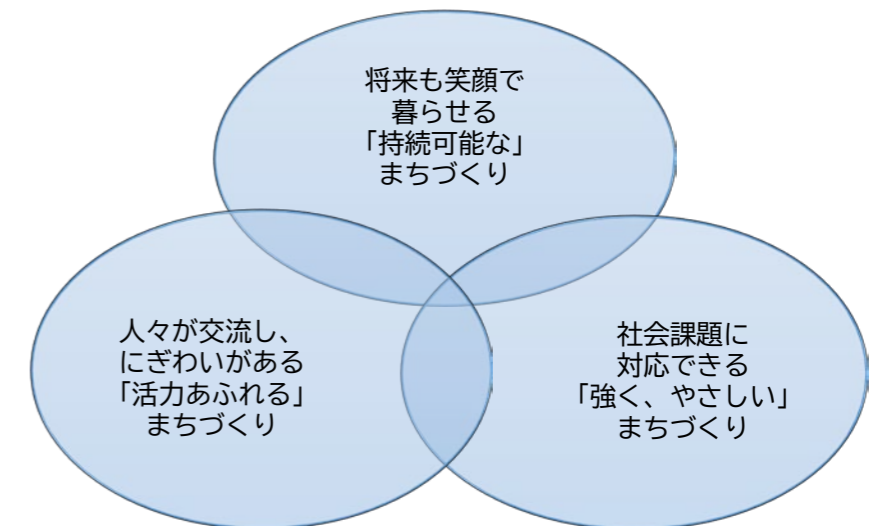
将来都市像の実現に向けた行政経営

コロナ禍により大きく前進したDXの波を止めることなく、利用者が利用しやすいデジタル化をさらに推進し、さらには業務の効率化につなげていく。また、人の交流が抑制された地域コミュニティの活動の再興に向けた対応する。

茅ヶ崎市実施計画 2025

茅ヶ崎市総合計画に定める将来の都市像の実現に向けて、コロナ禍を経た社会の変化を踏まえ、茅ヶ崎市実施計画 2025における重点戦略を定める。

重点戦略の3つの方向性



重点戦略の9つの柱

